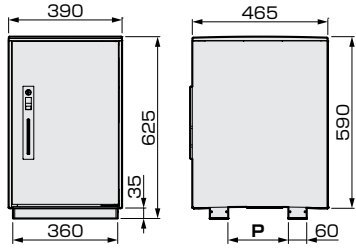


寸法図 ※イラストはコンボライトを使用しています。

単位：mm

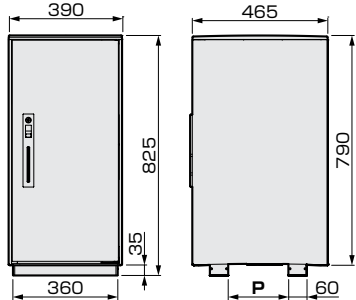
■ミドルタイプ



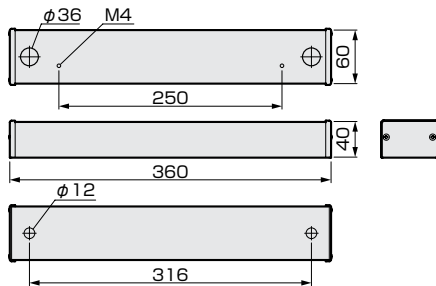
P寸法：

アンカー固定…190
接着固定…210

■ラージタイプ



■ベース



施工前の確認

単位：mm

施工前の準備

① 適応土間であることを確認する。

○ 適応

× 不適応

〈アンカー固定〉

● コンクリート

● 敷石 ● 木
● 大理石 ● 人工木

〈接着固定*〉

● タイル
● レンガ
● コンクリート
● インターロッキング

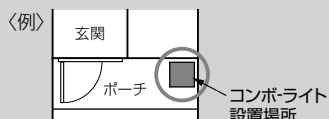
● 土
● 砂利

* テクスチャーの深さが5mm以下であることを確認してください。
(テクスチャーが深いと十分な強度が得られません。)

② 設置場所を決める。※設置後の移設はできません。

お願い

● 仮置きして、
扉の開閉や人の出入りを
確認してください。



施工手順 ※イラストはコンボライトを使用しています。

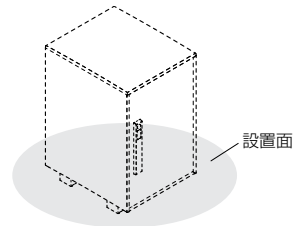
単位：mm

アンカー固定の場合

① 設置面を清掃する。

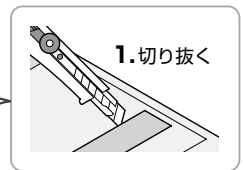
お願い

● 水平で不陸のないコンクリート面
あることを確認してください。

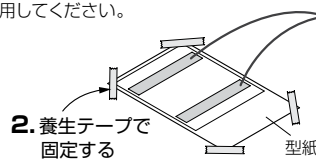


② 型紙の切り取り部を切り抜いて
設置場所に置く。

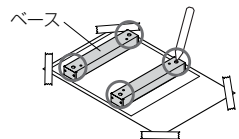
型紙は、アンカー固定用の面を
使用してください。



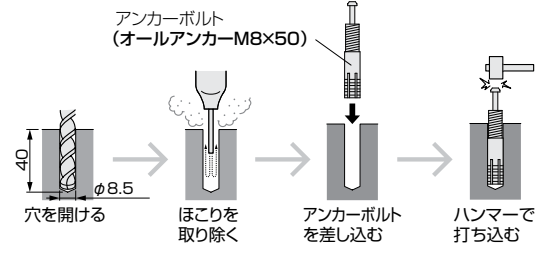
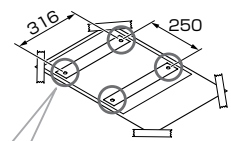
③ 養生テープで
固定する



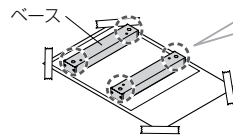
④ 型紙のベース取付位置にベースを
仮置きし、アンカー固定位置に
マーキングする。(4か所)



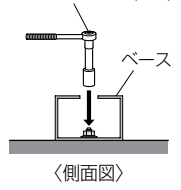
④ ベースをいったん外し、
マーキング位置に
アンカーボルトを固定する。



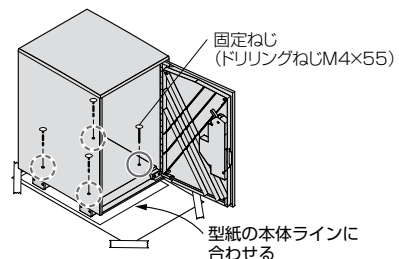
⑤ ベース取付位置の
アンカーボルトにベースを固定する。



ソケットレンチ(M8)



⑥ 宅配ボックス本体の位置を合わせ、
扉を開けてドリリングねじで固定する。(4か所固定)

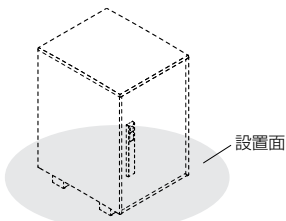


接着固定の場合

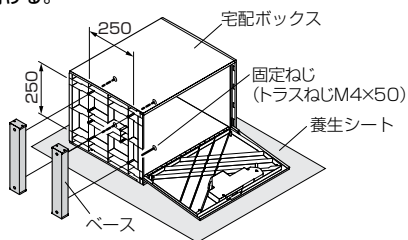
① 設置面を清掃する。

お願い

- 砂・土・こげや水気は残さないようにしてください。除去しないと十分な強度が得られません。

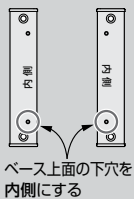


② 宅配ボックス本体の底部にベースを取り付ける。



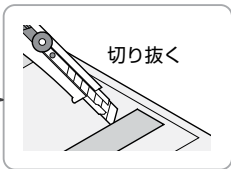
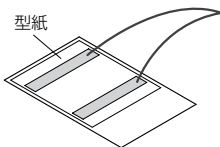
お願い

- 宅配ボックスを床に置くときは、必ず養生シートを使用してください。
- ベース上面の下穴は、それぞれ内側になるように取り付けてください。



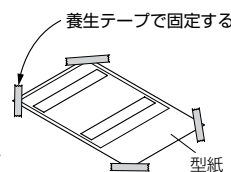
③ 型紙の切り取り部を切り抜く。

カッティングボードなどを敷いて、切り抜いてください。

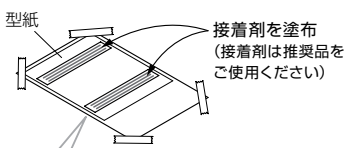


④ 型紙を設置場所に置いて養生テープで固定する。

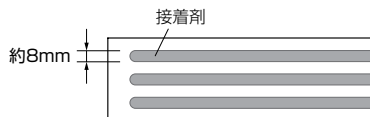
型紙は、接着固定用の面を使用してください。



⑤ 型紙のベース取付位置に接着剤を塗布する。

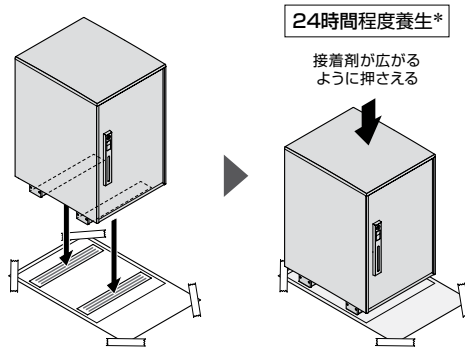


幅が8mm程度の接着剤3本を塗布する。
※タイル・レンガの目地には多めに塗布してください。



⑥ 型紙に合わせて本体を設置場所に置き、24時間程度養生する。

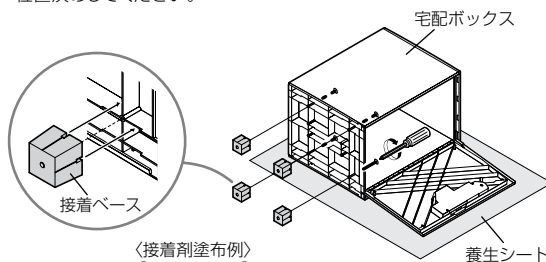
*24時間程度で通常の使用は可能ですが、接着剤の硬化完了までは大きな力を加えないでください。



接着施工専用ベースの場合

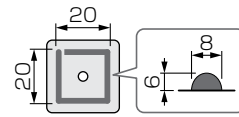
① 宅配ボックスの底部に接着ベースを取り付ける。

* 宅配ボックスの底部のリブに接着台座の溝をはめて位置決めしてください。



推奨接着剤：コニシ株式会社製 (品番：#05780)

接着剤塗布量の目安



がたつきがある場合は…

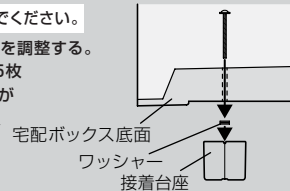
原則として、がたつきがない場所を選んでください。

付属のワッシャー(1mm)を用い、高さを調整する。

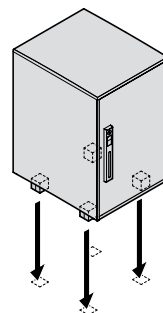
*台座1か所につき、ワッシャーは最大5枚

(5mm)までです。(がたつきの調整が

5mmを超えるとねじ固定ができなくなるおそれがあります。)



② 宅配ボックスを設置場所に置き24時間養生する。



※2段設置には対応できません。

施工手順 ※イラストはコンボライトを使用しています。

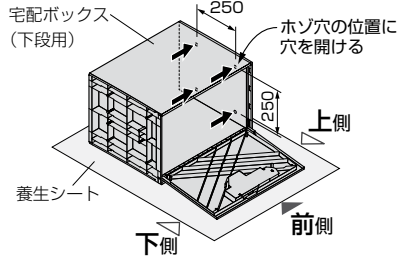
単位:mm

2 下段の宅配ボックス天面に連結用の穴(φ5)を開ける。

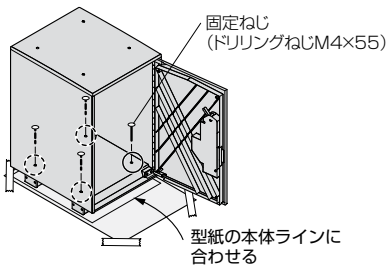
穴位置は、天面のボックス内側にあるホソ穴にドリル(φ5)で貫通穴を開けてください。【穴ピッチ:250】

お願い

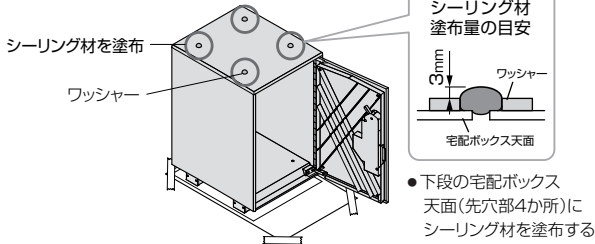
- 宅配ボックスを床に置くときは、必ず養生シートを使用してください。



3 穴を開けた下段の宅配ボックスを、アンカー固定されたベースに設置する。



4 宅配ボックス天面の先穴にワッシャーを貼り付け、シーリング材を塗布する

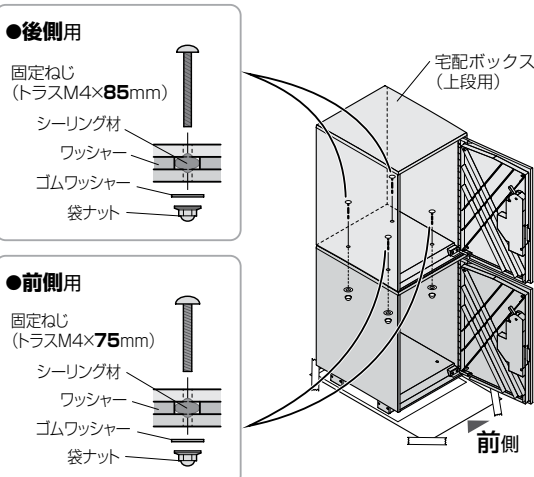


※必ず下段の宅配ボックスの天面に穴を開けてからワッシャーの貼り付けを行ってください。
※ワッシャーは、離型紙をはがして貼り付けてください。

5 上段の宅配ボックスを設置し、縦連結ねじセットで上段と下段の宅配ボックスを固定する。

お願い

- 扉の閉まり具合を確認しながら締め付ける強さを調整してください。ねじを締め付けすぎると、宅配ボックスが変形し、扉が開閉しにくくなります。
- 前側用・後側用でねじの長さが違うので注意してください。

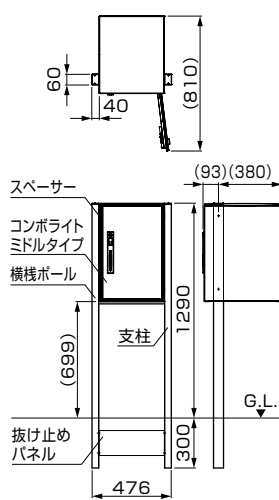


※2段設置する場合は、必ずアンカー固定をしてください。

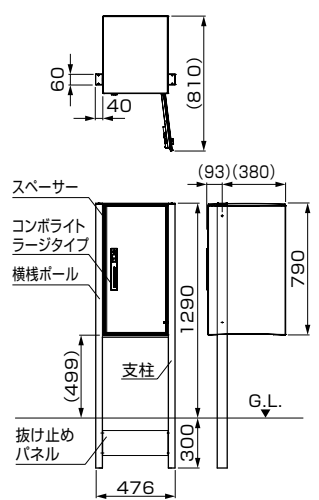
埋込専用ポール 寸法図 ※イラストはコンボライトを使用しています。

単位:mm

■ミドルタイプ



■ラージタイプ

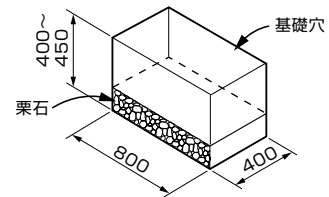


施工手順 ※イラストはコンボライトを使用しています。

単位:mm

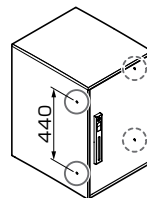
埋込専用ポールの場合

1 基礎穴を掘り、栗石を敷く。

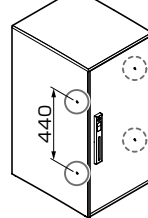


2 宅配ボックス側面に穴を開ける。

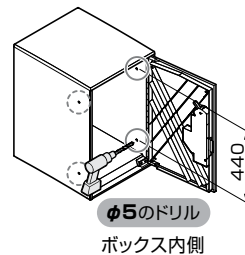
■ミドルタイプ



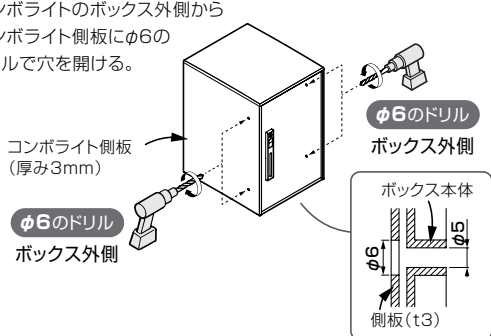
■ラージタイプ



1 φ5のドリルでコンボライトのボックス内部の穴からコンボライト側板に穴を開ける。ボックス内にはガイド穴があります。そのガイド穴を使って内側からドリルで開けてください。



2 コンボライトのボックス外側からコンボライト側板にφ6のドリルで穴を開ける。



ご注意

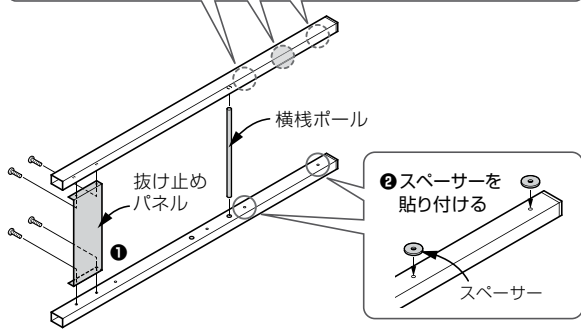
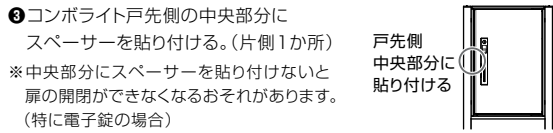
- コンボライト本体まで穴をあけないようご注意ください。(側板の熱伸縮吸収のためです。ボックス内まで穴を貫通させないでください)

施工手順 ※イラストはコンボライトを使用しています。

単位:mm

③ 支柱を組み立てる。

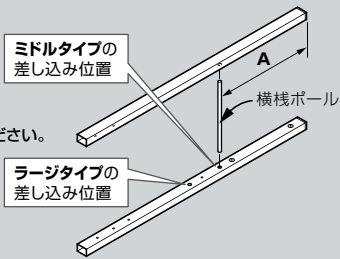
- ① 支柱をねかせた状態で、横棧ポールを差し込み、
抜け止めパネルを取り付ける。
※抜け止めパネルは必ず取り付けてください。
取り付けないとコンボライト本体が変形するおそれがあります。
- ② 支柱のコンボライト取付穴にスペーサーを貼り付ける。(左右 計4か所)
- ③ コンボライト戸先側の中央部分に
スペーサーを貼り付ける。(片側1か所)
※中央部分にスペーサーを貼り付けないと
扉の開閉ができなくなるおそれがあります。
(特に電子錠の場合)



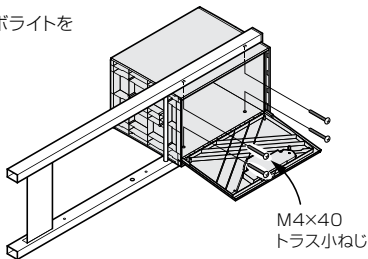
ご注意

- コンボライトのタイプによって横棧ポールの差し込み位置が異なります。間違えないようにご注意ください。

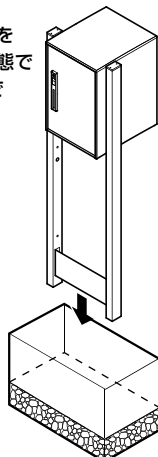
タイプ	A寸法
ミドル	591.5
ラージ	791.5



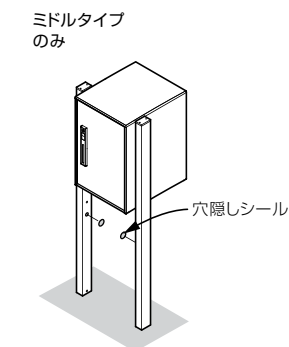
④ 支柱にコンボライトを取り付ける。



④ 宅配ボックスを取り付けた状態で埋め込む。



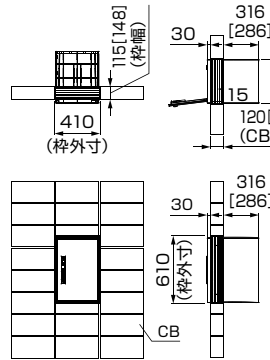
⑤ 宅配ボックスミドルタイプの場合、横棧ポール差し込み穴に穴隠しシールを貼り付ける。



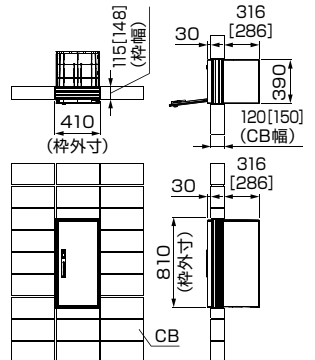
埋込施工 寸法図 ※イラストはコンボライトを使用しています。

単位:mm

■ミドルタイプ

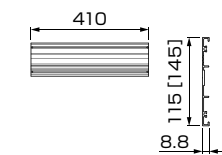


■ラージタイプ



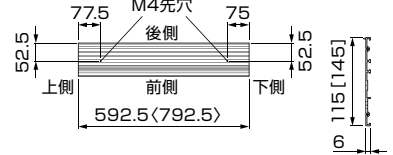
上下用施工枠

※ミドル・ラージタイプ共通



側面用施工枠(左右)

※く>はラージタイプです。



※数値はCB120用です。[]はCB150用です。

施工手順 ※イラストはコンボライトを使用しています。

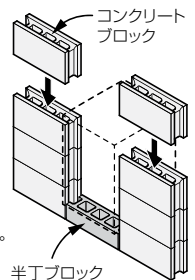
単位:mm

埋込施工枠の場合

お願い ●コンクリートブロックに関しては、建築基準法に従い、施工してください。

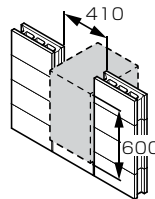
① ブロック施工

- ① 設置位置の周辺にコンクリートブロックを積む。
宅配ボックスの下側に半丁ブロックを使用することをおすすめします。半丁ブロックを使用しない場合は、宅配ボックス下側のブロックを1~2cm削ってください。宅配ボックス上側の目地が揃わなくなります。



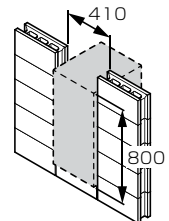
ミドルタイプ

ブロック 3段



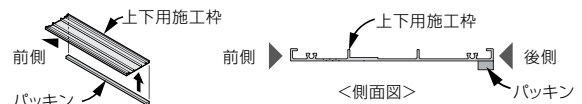
ラージタイプ

ブロック 4段



② 施工枠の組立・取付

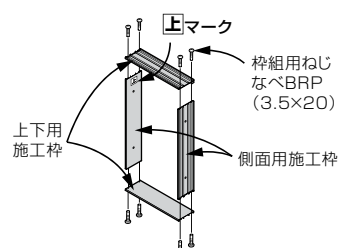
- ① 上側に取り付ける上下用施工枠の裏面に、パッキンを取り付ける。



- ② 施工枠を組み立てる。

ご注意

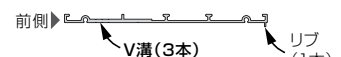
- 施工枠には前後・上下があります。
- V溝が入っている方が前側です。
- 側面用施工枠の上側には、上マークがあります。



例: 上下用施工枠 (CB150)



例: 側面用施工枠 (CB150)



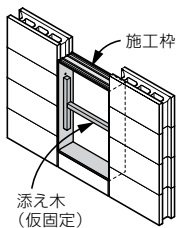
単位:mm

施工手順 ※イラストはコンボライトを使用しています。

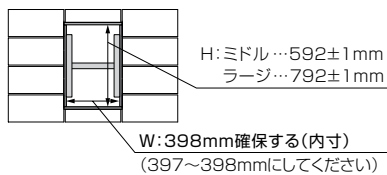
③ブロックへの埋め込み

①施工枠をブロックに挿入し、周囲のブロックをモルタルで固定する。

- ブロックを枠に強く押し当てないでください。(枠が変形し、扉の開閉に不具合が生じます)
- 枠に幅はブロック幅より、片側2.5mm控えて設置してください。(目地深さ2.5mmで設計しています)
- モルタルが硬化するまで添え木で仮固定してください。
- 工事中は養生シートなどで保護し、傷の防止をしてください。
- 施工枠は水平・垂直になるように取り付けてください。
- 宅配ボックス上のブロックは3段までにしてください。



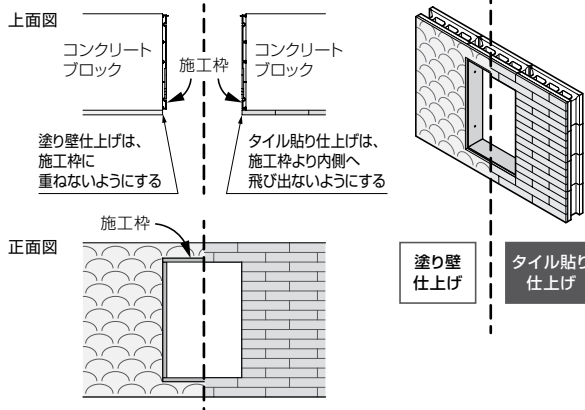
②施工枠の内寸寸法398mmを確保する。



ご注意 ●添え木がないと枠が内反りして宅配ボックスが入らなくなります。

④ブロックの化粧仕上げ ※宅配ボックス取付前に行ってください。

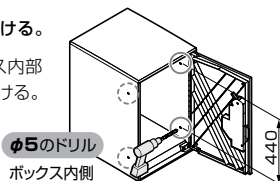
ブロックの化粧仕上げをする。



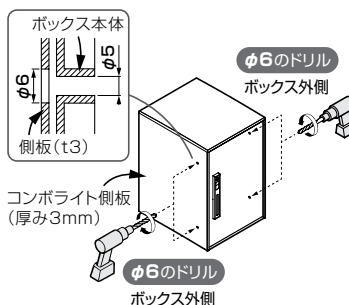
⑤宅配ボックスの取付

①宅配ボックスに取り付け用の穴をあける。

①φ5のドリルでコンボライトのボックス内部の穴からコンボライト側板に穴を開ける。ボックス内にはガイド穴があります。そのガイド穴を使って内側からドリルで開けてください。

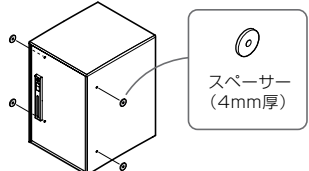


②コンボライトのボックス外側からコンボライト側板にφ6のドリルで穴を開ける。



ご注意 ●コンボライト本体まで穴をあけないようにご注意ください。(側板の熱伸縮吸収のためです。ボックス本体まで穴を貫通させないでください。)

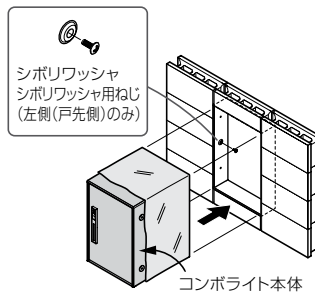
③あけた穴の外側に、スペーサー(4mm厚)を貼り付ける。温度が低い場合、テープの接着が弱くなる場合があります。その場合は温めてから接着してください。



④施工枠の左側(戸先側)にシボリワッシャを取り付ける。

ご注意

- シボリワッシャを設置しないと宅配ボックスが変形し、鍵に不具合が出るおそれがあります。(扉の開閉が出来なくなるおそれがあります。)(特に電子錠の場合)



④宅配ボックス本体を施工枠の前側から挿入する。

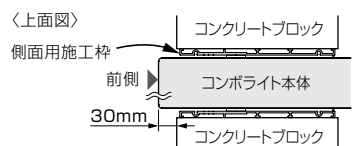
ご注意 ●養生してから取り付けてください。宅配ボックス本体は後ろ側から挿入できません。(宅配ボックスに傷が付く原因となります。)

⑤宅配ボックス本体の内側から、施工枠にねじ固定する。

①左側(戸先側)を ②右側(吊元側)のねじをねじ固定する。 調整しながらねじ固定する。



ご注意 ●必ず左側(戸先側)を先にねじ固定してください。止め付け順を誤ると、宅配ボックスが変形し、鍵に不具合が生じるおそれがあります。

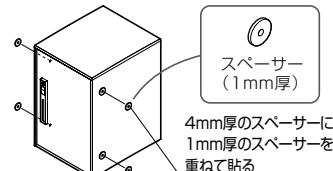


ご注意

●充電ドライバーは使用しないでください。

ねじ固定時に宅配ボックス本体が変形する(内寸が広がる)場合はスペーサー(1mm厚)で調整してください。

※施工枠の内寸が広い場合は、1mm厚のスペーサーを使用してください。

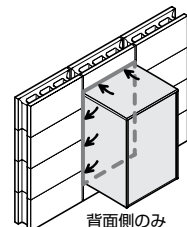


重要 ●宅配ボックスと施工枠の間にはスペース(すき間)ができます。(左右:3mm程度、上側:5mm程度のすき間を確保して、ねじの締め付けを調整してください。)
●左側(戸先側)を先にねじ固定し、右側(吊元側)で調整してください。

⑥宅配ボックス本体の背面のみ、周囲をシーリングで仕上げる。(すき間が気になる場合)

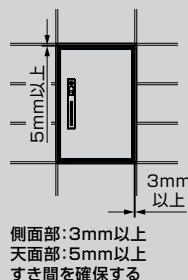
ご注意

●前面側はシーリングしないでください。(扉の開閉が出来なくなるおそれがあります。)



重要

- 施工枠が水平・垂直になるように固定してください。
- 宅配ボックス本体はモルタルで固定しないでください。(メンテナンス時、宅配ボックスを取り外すため)
- 宅配ボックス上のブロックは3段までです。(施工中の荷重により、宅配ボックスが変形するおそれがあります。)
- 周辺の化粧材(タイルなど)の施工時は「仕上げ材用スペーサー」を設置した状態で施工してください。(宅配ボックスの天面部5mm以上、側面部3mm以上のすき間を確保するため)

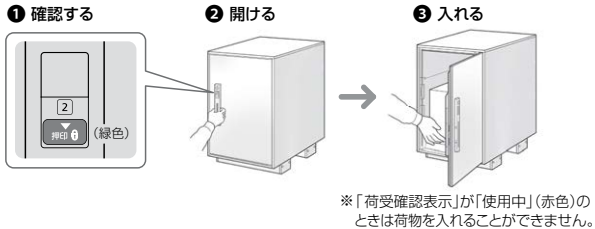


新商品
エントランス商品
関連商品
宅配ボックス
ラインアップ・特長
商品紹介
サインポスト
ラインアップ・特長
商品紹介
エントランスボール
ラインアップ・特長
商品紹介
集合住宅用
商品紹介
表札
Q&A
寸法・施工編
品質保証
生産終了
品番索引

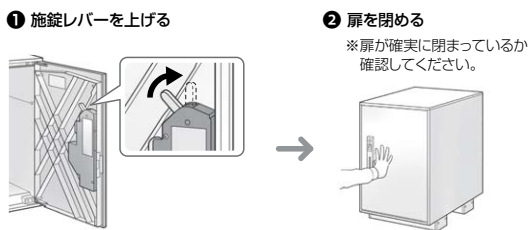
施工後の動作確認

荷物の配達

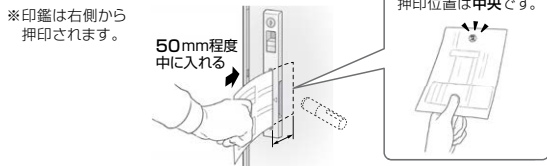
① 扉を開け、荷物を入れる



② 扉裏側の施錠レバーを上げ、扉を閉める



③ 伝票を奥まで差し込む



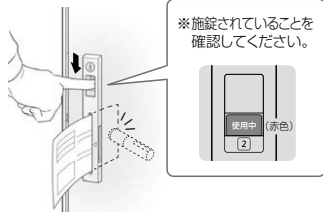
④ 押印・施錠ボタンを押し下げて、伝票を取り出す

押印と施錠が同時に完了します。

ご注意

- 押印・施錠ボタンは、止まるまでしっかりと押し下げてから指を離してください。

※低温(-5℃以下)では、押印文字がかすれることがあります。故障ではありません。



確実にお使いいただくために...

- 最寄りの宅配業者様へ連絡していただき、不在時の宅配ボックスの使用をお伝えください。
- 不在配達票が入っていた場合、荷物配達の日時のご指示とともに、次回より不在時の宅配ボックスの使用をお伝えください。

ご注意

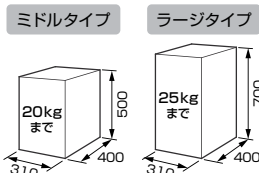
- 宅配ボックスは一業者(1回)受け取り用です。
- ※ 宅配ボックス内に荷物が入っている場合は、扉は開きません。



受け取れる荷物の大きさは...

ご注意

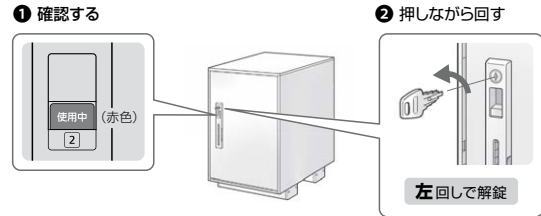
- 最大サイズ以上の荷物を入れると扉が開かなくなったり、破損するおそれがあります。



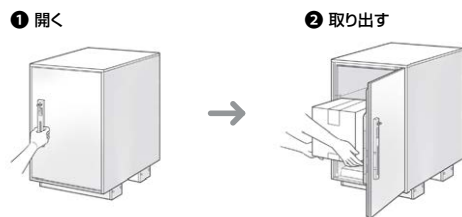
- 受け入れできないもの **X** 生鮮食料品 / 現金・貴重品・生花 など

荷物の取り出し

① 付属のキーで扉を解錠する

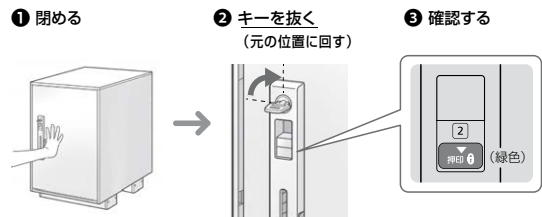


② 扉を開いて、荷物を取り出す



③ 扉を閉め、キーを抜く

※扉が確実に閉まっているか確認してください。



知っておいていただきたいこと

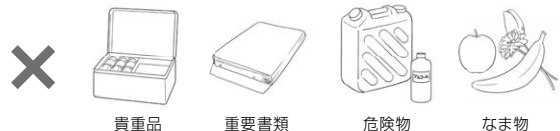
ご注意

- 荷物を取り出すために付属のキーが必要です。キーはお客様が大切に保管してください。



- 貴重品、重要書類、危険物、なま物などの保管はしないでください。

一般配達物の受箱として設計されていますので、貴重品類の受け取りや保管には適していません。**鍵も入れないでください。**意図的な盗難やいたすらには対応できません。また、風雨や諸条件によって雨水などが侵入することがありますのでご注意ください。



- 万一ボックス内に閉じ込められた場合でも閉じ込め防止ボタンを押すと扉が開きます。

